

## 議 事 録

会議名	山梨がんピアサポート希望の会 第119回定例会
日時	2021年12月19日 10:00~12:00
場所	山梨大学医学部地域医療学講座設定 zoom
参加者 イニシャル	M.H H.K N.M K.M K.K K.M H.R Y.Y K.M N.H M.S H.K W.N (計13名) オブザーバー：山梨大学医学部地域医療学講座 佐藤 弥 教授

議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、あいさつ</li> <li>2、最近どう？</li> <li>3、司会進行自薦・他薦</li> <li>4、事例検討</li> <li>5、がんリハビリテーションにおける「患者・家族」の役割とは</li> <li>6、その他</li> <li>7、佐藤教授からの総括</li> </ol>
-----	---

## 議事内容

1. について
 

コロナ陽性確認者は少ないが、医療従事者の新型コロナワクチン接種 3 回目は粛々に行われている。オブザーバーの教授も 3 回目早期接種の対象者となっているので、機会があったら感想を聞きたい。
2. について
 

参加者全員が with corona での窮屈さやその中での楽しみなどを報告。感染対策をとりつつ、新しい生活様式を意識しての県外移動などの例も挙げた。それぞれがコロナ禍体験を活かしている様子が感じられた。また、年末の慌ただしい時節なので、事故などにも気をつけようと話し合った。
3. について
 

他薦で H 副代表が引き受けてくれた
4. について・・・1 例あり
 

乳がん治療を行っている相談者の事例。何度か相談を受けている。何名かのサポーターが対応しているので、繰り返しの相談者の負担にならないような情報共有を行った。
5. について
 

以下のようなコメントがあった

  - 自ら相談先を探す意識が重要
  - 自ら動く意識が必要。現実を受け身であることが多いので、聞く耳を持つ。積極的に医療に参加する。情報を探していく。

- ピアサポーターがサポートに入ると、患者の考えがまとまりやすい
- 患者が一人で診察を受けなくていいように、家族の同席で内容を受け止める
- がん相談支援センターを積極的に活用する
- ピアサポーターを積極的に利用する。また、情報がわかってもつながりが持てない
- 医療従事者との良いコミュニケーションを心がける。また、医療従事者からのしっかり受け止める
- 医療者にがんリハの重要性を訴える

## 6, について

- ① 12月5日(日)「のぞみの会リアル交流会」感想
- ② **2022年1月29日・30日オンラインFFJCP活動報告内容・・・発表者：堀内**
- ③ 12/17 リレーフォーライフルミナリエ 感想

## 7, 佐藤先生総括

次回は2022年1月23日(日)10:00～(第120回)

- ① 事例検討で、相談されたことに対し正解を出そうとしすぎているのではないか……。相談者は「正しい」「正しくない」などの回答を求めているわけではない。もっと緩い感じに対応したらいいのではないか
- ② がんリハは、地域包括の『にのまえ』にならないよう、患者・家族が必要な医療等にアプローチできるような文章が必要

定例会 次回予定	<b>第120回定例会</b> <b>2022年 1月23日(日) 10:00 ～12:00</b> <b>URLは追って連絡</b> <b>次回は2022年最初の定例会です。</b>
-------------	--

司会：H.K      文責：わかお